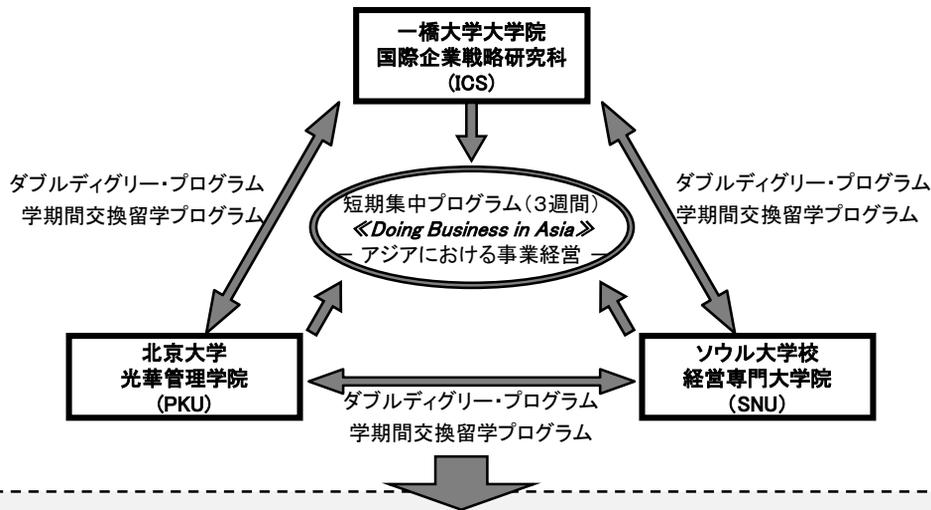


大学の世界展開力強化事業(平成28年度採択) 一橋大学 取組概要

【アジア・ビジネスリーダー・プログラムⅡ(アドバンスト)】(選定年度28年度・(タイプA-①CAMPUS Asia))

【事業の概要】



教育研究支援

- ◆ BEST Alliance Symposium (BESTシンポジウム): 年1度、各校の持ち回りにより開催。
- ◆ Joint Research: 各校の教員が協力してリサーチを行い、BESTシンポジウムにおいて報告、発表。成果をカリキュラム開発等に活用。
- ◆ 就職支援: インターンシップ等のサポートを提供。
- ◆ ビジネスリーダーによるレクチャー: 適宜、各界のリーダーに登壇を依頼し、学生との質疑応答等インタラクティブなディスカッションを実施。

運営体制

- 運営委員会: 各大学研究科長・担当教員及び事務職員が集まり年2度開催。
- 諮問評価システム: 各国のビジネスリーダーや政府関係者等にプログラムに対する意見を聴取。
- ABLP教員ディレクター: 各大学に1名を配置。
- AABLP専門事務職員: 英語に堪能なプロフェッショナルスタッフを配置。

【交流プログラムの概要】

一橋大学・北京大学・ソウル大学校の3大学協働による日中韓の次世代ビジネスリーダーを育成するプログラム。MBAプログラムの学生を対象としたダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、短期集中プログラム及び3大学の教員によるJoint Researchを実施する。各活動の成果は、毎年3大学合同で開催するシンポジウムにおいて報告、発表される。

【本事業で養成する人材像】

広い視野から課題を発見し、深い専門知識に基づき論理的に考え、的確に判断し課題解決への道筋を見出す力、自らの考えを他者にも分かりやすく伝える力、そして、世界の多様な国や地域の人々とも相互に理解し、尊重し、協働する柔軟性をもつ“将来グローバルに活躍できる人材”を育成する。

“将来グローバルに活躍できる人材”とは、西洋とアジアの良さを融合した新しい経営理論の相互学習を通じて、企業の成長と社会的課題の解決を両立する新しい国家の成長モデルの実行をリードし、世界の発展に貢献し得る「真のグローバルリーダー」である。

【本事業の特徴】

パイロットプログラムで得た知識・経験を生かし、3大学間のみならず、他アジア地域へも展開する他、オンラインコースの導入拡大や、Web会議システムの利用等によりIT化を推進し、最先端の教育システムの構築を目指す。また、交流プログラムを実施するだけでなく、パイロットプログラム及びアドバンストプログラムで得た知見を、国内の他大学や教育機関と共有し、日本の大学のグローバル化を牽引する。

【交流予定人数】 <タイプA-①>

	H28	H29	H30	H31	H32
日本(J)の受入	C 13				
	K 13				
中国(C)の受入	J 13				
	K 13				
韓国(K)の受入	J 13				
	C 13				

1. 取組内容の進捗状況(平成28年度)

【アジア・ビジネスリーダー・プログラムⅡ(アドバンスト)】(選定年度28年度・(タイプA-①CAMPUS Asia))

■ 交流プログラムの実施状況



〈11月 ソウル大学Study Tourの合同講義後〉

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

一橋大学からは学期間交換留学プログラムにおいて1名を北京大学に派遣した。また、ダブルディグリー・プログラムにおいて1名をソウル大学校へ派遣した。

○ 外国人留学生の受入

ダブルディグリー・プログラムにおいて北京大学及びソウル大学校から各1名を受け入れ、さらに、ソウル大学校からStudy Tour学生29名を受け入れた。Study Tourでは、プログラムの一部において一橋大学の必修講義を合同で受講する等、大規模な交流を実現することができた。その他、野村證券やイオンといった日本企業の視察も実施し、短期間ながら、日本のビジネスを学ぶための充実したプログラムを提供し、参加したソウル大学校生から高い評価を得た。

〈タイプA-①②〉

	H28
日本(J)の受入	C 1 K 30
中国(C)の受入	J 1 K 3
韓国(K)の受入	J 1 C 5

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組プロセスの明確化

本事業の基礎となる提携に関する覚書を改定し、11月にソウルにおいて開催されたBEST Symposiumにおいて各校の研究科長が合意した。また、ダブルディグリー・プログラムに関する覚書の改訂も行い、Part-time MBAの受入も可能な基盤を整えた。

他大学への展開

本事業の経験・実績を基に、2016年11月には中国人民大学商学院とのダブルディグリー・プログラムに関する覚書を締結した。本事業以外の提携校との交流も発展させることでさらに知見を重ね、より質の高いプログラムやシステムの構築を目指す。



〈11月 ソウルにおけるBEST Symposium〉

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

オンライン・コースウェアの活用

新たに導入したオンライン・コースウェアを活用した情報提供を徹底したことにより、派遣中の学生及び受入予定学生に対する明確かつスピーディーな情報提供を推進した。

交流先における説明会実施

提携先において説明会を実施することにより、参加希望学生は派遣前に派遣先担当者とのコンタクトを持ち、よりスムーズなコミュニケーションを図る環境作りを進めた(受入時も同様に学生が本学担当者とコンタクト可能な環境となっている)。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況

11月に実施したSNU Study Tourでは、企業訪問時に香港中文大学の交換留学生も参加した他、3月に開催した世界的なビジネススクールのネットワークGlobal Network for Advanced Management(GNAM)加盟校が世界各地で同時開催する短期集中プログラム“Global Network Week”において、一橋大学で受け入れている北京大学のダブルディグリー学生がトルコのKoç Universityプログラムに参加する等、柔軟且つ発展的な交流が進んでいる。

■ 情報の公開、成果の普及

本事業で継続して実施しているダブルディグリー・プログラムを全学的に展開すべく、情報共有を進めている。また、平成29年度に向けて、交流プログラムで得た知見を国内他大学と共有するためのシンポジウムを予定している。

■ グッドプラクティス等

学生交流を推進すべく、北京大学・ソウル大学校に赴き一橋大学の説明会を実施した。ソウル大学校から、初めてダブルディグリー・プログラム参加学生を受入れた。また、Study Tourも積極的に受入れ、ソウル大学校から29名を受け入れた。

2. 取組内容の進捗状況(平成29年度)

【アジア・ビジネスリーダー・プログラムII(アドバンスト)】(選定年度28年度・(タイプA①CAMPUS Asia))

■ 交流プログラムの実施状況



〈Doing Business In Asia〉

一橋大学(以下「ICS」)、北京大学(以下「PKU」)、ソウル大学校(以下「SNU」)の3大学協働による日中韓の次世代ビジネスリーダーを育成するプログラム。MBAプログラムの学生を対象としたダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、短期集中プログラム及び3大学の教員によるJoint Research を実施する。各活動の成果は、毎年3大学合同で開催するシンポジウムにおいて報告、発表される。本取組は3校による「BEST Business School Alliance」が基盤となっている。平成29年度も計画したプログラム及び運営委員会、Information Session、シンポジウムが予定通り実施された。

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生(ICS留学生)の派遣

学期間交換留学プログラム： ICSからPKUへ 2名派遣 ICSからSNUへ1名派遣
短期集中プログラム“Doing Business in Asia”： ICS からPKU/SNUへ 10名派遣

○ 外国人留学生の受入

学期間交換留学プログラム： PKUからICSへ1名受入 SNUからICSへ1名受入
ダブルディグリー・プログラム： PKUからICSへ1名受入 SNUからICSへ1名受入
短期集中プログラム“Doing Business in Asia”： PKU から10名、SNUから8名受入

<タイプA-①>

	H29
日本(J)での受入	C 12 K 10
中国(C)での受入	J 12 K 8
韓国(K)での受入	J 11 C 15

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

平成29年11月9日～10日にICSが主催したBESTシンポジウムで本事業の関係者が一同に会し、プログラムの進捗状況、Key Note Speechや共同研究のプレゼンテーションがおこなわれた。Advanced Programにおける更なる発展的な関係への連携が確認され、充実した内容のものとなった。



(BEST Symposium)

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

オンライン・コースウェアの活用

新たに導入したオンライン・コースウェアを活用した情報提供を徹底したことにより、派遣中の学生及び受入予定学生に対する明確かつスピーディーな情報提供を推進した。

交流先における説明会実施

提携先において説明会を実施することにより、参加希望学生は派遣前に派遣先担当者とコンタクトを持ち、よりスムーズなコミュニケーションを図る環境作りを進めた(受入時も同様に学生が本学担当者とコンタクト可能な環境となっている)。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開、成果の普及

受入学生は、“Global Network for Advanced Management”(GN)(世界的なビジネススクールのネットワーク)の加盟校が世界各地で同時開催する短期集中プログラム“Global Network Week”に参加することが出来る。本プログラムを通じ、受入学生がGN加盟校と交流することで、本学の取組みを広く普及することが出来た。また、広報専門のコンサルタントから助言を受け、マーケティング担当者がウェブサイト等を活用し、本事業の取り組みを定期的に更新することで効果的な情報発信に努めている。

■ グッドプラクティス等

学生交流を推進すべく、PKU・SNU に赴き一橋大学及び ICS の説明会を実施している。平成29年11月にはPKUにて、本学プログラムのInformation Sessionを開催した。また、Study Tour も積極的に受入れ、SNU から29名を受け入れた。

3. 取組内容の進捗状況(平成30年度)

【アジア・ビジネスリーダー・プログラムⅡ(アドバンスト)】(選定年度28年度・(タイプA①CAMPUS Asia))

■ 交流プログラムの実施状況



〈 Doing Business in Asia 〉

一橋大学大学院経営管理研究科国際企業戦略専攻(以下「ICS」)・北京大学(以下「PKU」)・ソウル大学校(以下「SNU」)の3大学協働による日中韓の次世代ビジネスリーダーを育成するプログラム。

MBAプログラムの学生を対象としたダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、短期集中プログラム(Doing Business in Asia)、及び3大学の教員によるJoint Researchを実施する。各活動の成果は、毎年3大学合同で開催するシンポジウムにおいて報告、発表される。本取組は3校によるBEST Business School Allianceが基盤となっている。平成30年度も計画したプログラム及び運営委員会、Information Session、シンポジウムが予定通り実施された。

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

ダブルディグリー・プログラム: ICSからPKUへ1名派遣、ICSからSNUへ1名派遣
短期集中プログラム "Doing Business in Asia": ICSからPKU/SNUへ10名派遣

○ 外国人留学生の受入

ダブルディグリー・プログラム:

PKUからICSへ1名受入

学期間交換留学プログラム:

PKUからICSへ2名受入

短期集中プログラム "Doing Business in Asia":

PKUから9名、SNUから8名受入

SNU Study Tour: SNUより23名受入

〈タイプA-①〉

	H30
日本(J)での受入	C 12 K 31
中国(C)での受入	J 11 K 11
韓国(K)での受入	J 11 C 10

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

PKU、SNUとの覚書改訂プロジェクトが平成29年度までに完了したことにより、3校間での単位互換がよりスムーズに実施できるようになったうえ、成績管理、学位授与プロセスが明確になった。また、シンポジウムに於いて、本事業の関係者が一同に会し、Advanced Programにおける更なる発展的な関係への連携が確認された。



〈 BEST Symposium 〉

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

パートタイムMBA学生の受入

平成30年9月より、PKUよりPart Time MBA学生の受入を開始した。フルタイム、パートタイムというステータスに捕われずに多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れることにより、広い視野を持つ人材の育成を図る。

説明会実施

提携先において担当教員が説明会を実施することにより、参加希望学生は派遣前に担当者とコンタクトを持ち、よりスムーズなコミュニケーションを図る環境づくりを進めた。また今年度はSNUより担当教員を招聘しICSに於いて説明会を実施した。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開、成果の普及

平成30年度よりICSウェブサイトが一新され、本事業についてのページを作成し、本事業の取組をマーケティング担当者が定期的に更新している。また、そのページよりPKU、SNUのウェブサイトにもすぐにアクセスできるようした。ウェブサイトに加え、Instagram、FacebookなどのSNSも利用し、本学の取組を広く普及している。

■ グッドプラクティス等

学生交流を推進すべく、担当教員自らPKU/SNUへ赴き一橋大学及びICSについて説明会を実施している。平成30年11月にはPKUに於いて、本学プログラムの説明会を開催した。また今年度はSNUよりStudy Tourを受け入れ、23名の学生がICSにて、教員による講義、企業訪問、ICS学生との交流を行った。

4. 取組内容の進捗状況(令和元年度)

【アジア・ビジネスリーダー・プログラムⅡ(アドバンスト)】(選定年度28年度・(タイプA-① CAMPUS Asia))

■ 交流プログラムの実施状況



〈 Doing Business in Asia 〉

一橋大学(以下「ICS」)・北京大学(以下「PKU」)・ソウル大学校(以下「SNU」)の3大学協働による日中韓の次世代ビジネスリーダーを育成するプログラム。MBAプログラムの学生を対象としたダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、短期集中プログラム(Doing Business in Asia)、及び3大学の教員によるJoint Researchを実施する。各活動の成果は、毎年3大学合同で開催するシンポジウムにおいて報告、発表される。本取組は3校によるBEST Business School Allianceが基盤となっている。元年度も計画したプログラム及び運営委員会、Information Session、シンポジウムが実施された。

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

学期間交換留学プログラム:ICSからPKUへ2名派遣

短期集中プログラム "Doing Business in Asia":ICSからPKU/SNUへ10名派遣

○ 外国人留学生の受入

ダブルディグリー・プログラム:

PKUからICSへ1名受入

学期間交換留学プログラム:

PKUからICSへ1名受入

短期集中プログラム "Doing Business in Asia" :

PKUから10名受入

〈タイプA-①〉

	R1
日本(J)での受入	C 12 K 0
中国(C)での受入	J 12 K 11
韓国(K)での受入	J 10 C 10

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

PKUとのDouble Degree覚書改訂が令和元年12月に完了したことにより、令和4年までのDouble Degree受け入れ・派遣プロセスが明確になった。また、11月7日に開催されたシンポジウムに於いて、本事業の関係者が一同に会し、Advanced Programにおける更なる発展的な関係への連携が確認された。



〈 BEST Symposium 〉

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

パートタイムMBA学生の受入

2018年9月より、PKUよりPart Time MBA学生の受入を開始した。フルタイム、パートタイムというステータスにとらわれずに多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れることにより、広い視野を持つ人材の育成を図る。

説明会実施

提携先において担当教員が説明会を実施することにより、参加希望学生は派遣前に担当者とコンタクトを持ち、よりスムーズなコミュニケーションを図る環境づくりを進めた。また令和元年度はPKUより担当教員を招聘しICSに於いて説明会を実施した。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況 情報の公開、成果の普及

平成30年度、ICSウェブサイトが一新され、令和元年度は、マーケティング担当者が本事業についてのページを、更に充実させた。また、そのページよりPKU、SNUのウェブサイトへの容易なアクセスが可能となっている。ウェブサイトに加え、Instagram、FacebookなどのSNSも利用し、本学の取組を広く普及している。

■ グッドプラクティス等

学生交流を推進すべく、担当教員自らPKU/SNUへ赴き一橋大学及びICSについて説明会を実施している。令和元年10月にはPKUに対し、Web会議(zoom)ベースで、本学プログラムの説明会を開催した。また、令和元年11月にはSNUに於いて、本学プログラムの説明会を行った。

5. 取組内容の進捗状況(令和2年度)

【一橋大学】

【アジア・ビジネスリーダー・プログラムⅡ(アドバンスト)】(選定年度28年度・(タイプA-① CAMPUS Asia))

■ 交流プログラムの実施状況



〈BEST Alliance シンポジウム 2020〉

一橋大学大学院経営管理研究科国際企業戦略専攻(以下「ICS」)・北京大学光華管理学院(以下「PKU」)・ソウル大学校経営学部・経営専門大学院(以下「SNU」)の3大学協働による日中韓の次世代ビジネスリーダーを育成するプログラム。MBAプログラムの学生を対象としたダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、短期集中プログラム(Doing Business in Asia, SNU Study Tour)、及び3大学の教員によるJoint Researchを実施。各活動の成果は毎年3大学合同で開催するシンポジウムにおいて報告、発表される。本取組は3校によるBEST Business School Allianceが基盤となっている。令和2年度は本取組の協定が更新され、シンポジウムではハイブリッド及びオンライン授業のベストプラクティスを共有した。

〈タイプA-①〉

	R2
日本(J)での受入	C 3 K 14
中国(C)での受入	J 0 K 3
韓国(K)での受入	J 0 C 1

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日本人学生派遣を取り止めとした。

○ 外国人留学生の受入

ダブルディグリー・プログラム:

PKUからICSへ2名受入

学期間交換留学プログラム:

PKUからICSへ1名受入

短期集中プログラム “Doing Business in Asia”:

新型コロナウイルス感染拡大のためプログラムキャンセル

短期集中プログラム “SNU Study Tour (Online)”:

SNUからICSへ14名受入



〈BEST Alliance シンポジウム 2020〉

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

本事業の基盤となっている、BEST Business School Alliance の3校間協定が更新され、学生交流並びに共同研究の協力体制を再強化した。令和2年11月にはオンラインでBEST Alliance Symposiumを開催し、主として共同研究結果及び新型コロナウイルス感染症対策のベストプラクティスの共有を行った。また、12月にはSNU Study Tourをオンラインで開催、日本企業からゲストスピーカーを招き、韓国のMBAプログラム学生に短期集中講義を行った。

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

ICSはCG背景を駆使した放送用スタジオを備えており、数年前よりオンライン授業の知見を蓄えていたため、緊急事態宣言発出以前より国内でいち早くオンライン授業へ移行することができ、留学ができない環境下でもプログラムを実施することができた。また、大講義室の音響設備増強、技術専任スタッフの配置等、ハイブリッド及びオンライン授業提供のため対策を講じた。さらに、PKU・SNU学生に向けた合同オンライン説明会を実施し、各校の学生とコミュニケーションを図る機会を設けた。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開、成果の普及

マーケティング担当者を配置し、本事業についてのウェブページを更に充実させた。相互リンクによりPKU,SNUのウェブサイトへの容易なアクセスが可能となっている。令和2年度はオンラインで開催されたBEST Alliance Symposiumのレポート、及びPKUより受け入れたダブルディグリー・プログラム学生の特集を作成した。ウェブサイトに加え、Instagram, Facebook, LinkedInなどのSNSも利用し、本学の取組を広く発信している。

■ グッドプラクティス等

ICSでは元々完全英語での授業・カリキュラム実施環境が整っており、このためダブルディグリー・プログラムの運営も問題無く実施できている。海外のトップビジネススクールで学位を得た教員がネットワークを維持し、世界水準のカリキュラムを構築している。そのうえで、各校ユニークなカリキュラムのよりいっそうのチューニングを行なっている。また、3校間の教職員の交流、協力関係も年々深まっており、これによりサポートの質も向上している。ICSでは毎年SNUより教員を招聘し、ICSの学生に向け講義を開講している。令和2年度は完全オンラインでの授業となったが、オンライン上ホワイトボード等の活用により教員と学生間のコミュニケーションを促進することで、留学を実施できない環境であるにもかかわらず従前と変わらぬ授業を実施でき、かつSNUへの留学の魅力について周知する良い機会となった。また、PKU・SNUと合同で説明会をすることにより、各校スタッフ及び学生にとって効率よく情報を共有することが可能となり、3校の学生が一堂に会し交流できたため、オンラインならではの価値を見出すことができた。